



UVプロテクトクリアーシリーズ

高意匠サイディングボード用超低汚染シリコン系外壁保護クリアー

UVプロテクトSiクリアー

高意匠サイディングボード用超低汚染フッ素系外壁保護クリアー

UVプロテクトDFクリアー

水性2液形高意匠サイディングボード用超低汚染シリコン系外壁保護クリアー

水性UVプロテクトクリアー



PURERIDE UV PROTECT CLEAR SERIES

UVプロテクトクリアーシリーズなら

デザイン性の高いサイディングボードの
美しさをそのままに、さらに長持ちします。



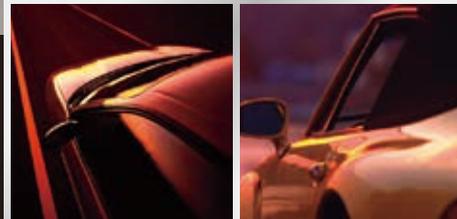
どちらがいいですか？



塗りつぶしだと

せっかくの外壁デザインが台なしに。

COATING TECHNOLOGY



世界をリードする日本の自動車産業、
そのコーティングテクノロジーを支える日本ペイントだからできる発想。

日本建築仕上材工業会登録
ホルムアルデヒド
放散等級 F☆☆☆☆

Basic & New
日本ペイント

日々、紫外線や風雨にさらされている家の外壁。新築～10年以内に、外壁がきれいな状態でのUV

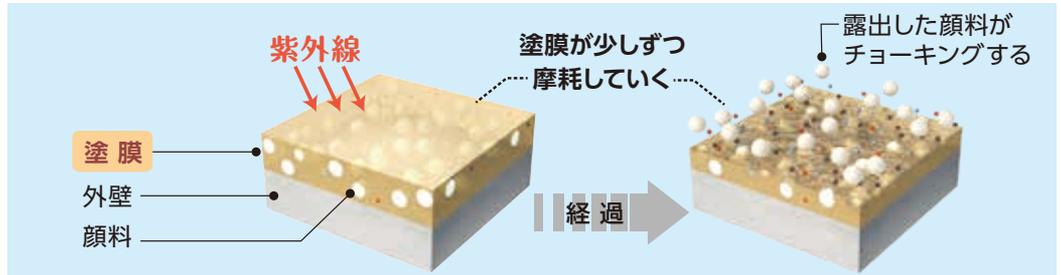
耐久性

外壁の美しさを長持ちさせるUVプロテクトクリアーシリーズ。

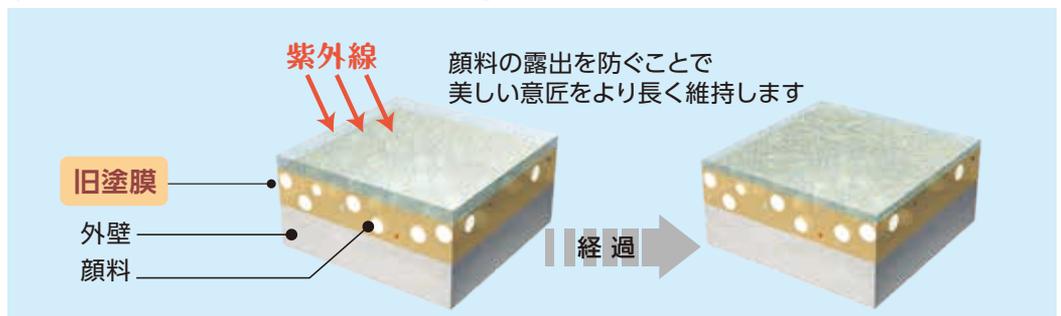
UVプロテクトクリアーシリーズは、2液硬化反応による強靱な塗膜を形成し、劣化を長期間おさえ、サイディングボードを新築時に近い風合いのまま長期に維持できます。

チョーキングの原因は主に紫外線によって、塗膜が摩耗し、顔料が露出することによって起こります

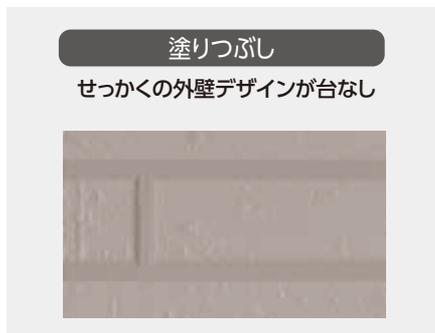
◆一般的な塗装



◆UVプロテクトクリアーシリーズ塗装



外壁の美しさをそのままに!



紫外線 (ultraviolet) とは...

地表に届く太陽光のうちで波長が最も短く、目に見えない高エネルギーの光線です。

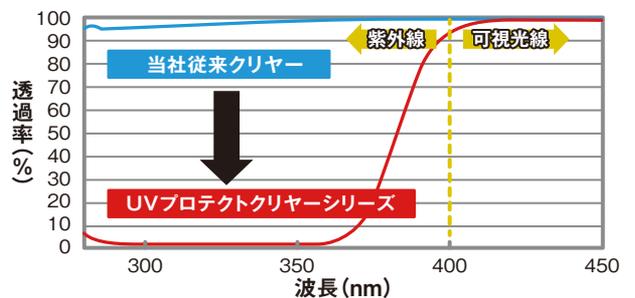
紫外線は人の健康や環境への影響度の観点から、波長によってUV-A (315~380nm)、UV-B (280~315nm)、UV-C (200~280nm)の3つに分けられます。

地表に到達する紫外線の99%がUV-Aであり、UV-Bはオゾン層などに大半は吸収されますが一部 (295nm以上) が地表へ到達します。また、UV-Cはオゾン層などの大気層に阻まれて地表には届きません。

私達が日常曝されている、この波長295~380nmの紫外線は皮膚などの人体に悪影響を及ぼすのと同様に塗膜劣化を促進させます。

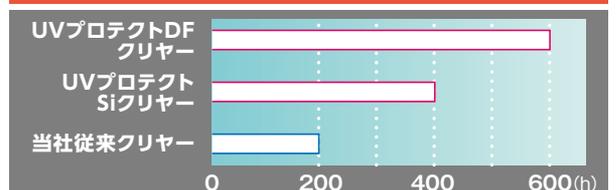
UVプロテクトクリアーシリーズは、この波長領域の紫外線の透過を減らすことにより、塗装面の劣化を抑制し長期にわたって保護します。

▶▶ UVプロテクトクリアーシリーズの紫外線抑制効果



塗膜を劣化させる紫外線領域 (295~380nm) がほぼ抑制される。

耐久性 (SUV) 表面劣化 (クラックの発生) が認められるまでの時間



試験機器: スーパーUV (SUV) - メタルハライドランプ式耐候性試験機
放射照度: 1,000W/m² 湿度制御方式: 蒸気加湿方式

プロテクトクリヤーシリーズの使用をおすすめします。 ヒュアライド UVプロテクトクリヤーシリーズ

※サイディングの劣化状況により適用可能な期間が変わります。

超低汚染性

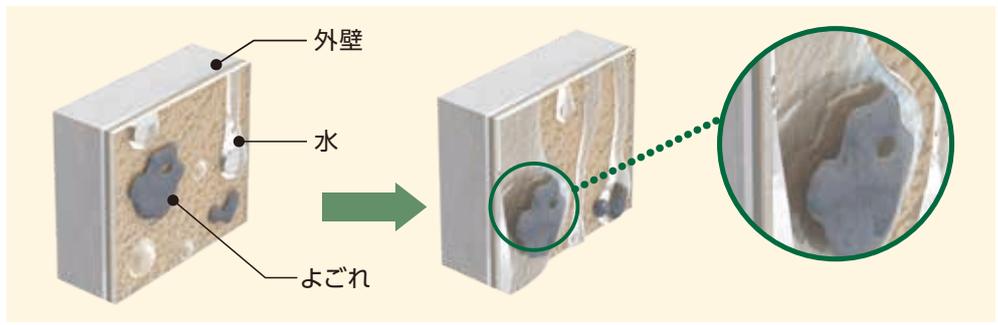
汚れやかびに強い外壁に生まれ変わります。

UVプロテクトクリヤーシリーズを施した外壁なら、表面に付着した汚れを、雨が浮かせて流すことができます。さらに、UVプロテクトクリヤーシリーズには防かび・防藻性があり、嫌なかび菌や藻の発生を長期間にわたり抑制することができます。それらの性能により、住宅の外観を長期間清潔に、美しく保つことができます。

防かび・防藻性

かびや藻の発生を抑制し建物の美観を維持します。

雨で汚れが浮き上がり、流れます



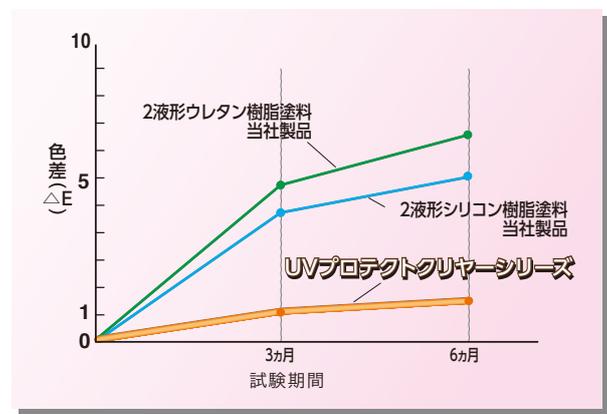
超低汚染性 ～雨垂れ暴露促進試験による汚染性能試験～

●雨垂れ暴露促進試験による汚染性能試験
屋外にて塗板を暴露し、雨筋状の汚れのつく程度を目視や色差(ΔE)により測定します。試験開始6ヵ月後では、当社の一般のシリコン樹脂塗料やウレタン樹脂塗料と比べて、雨筋状の汚れが少ないことがわかります。

超低汚染のメカニズム

雨垂れによる汚染などを防止するためには、塗膜表面が水になじむような性質(親水性)であることが重要です。カーボン等の汚染物質には油の性質があり、塗膜表面も水をはじくような油の性質(親油性)を持っていると、汚染物質が表面に付着しやすくなります。しかし塗膜表面が親水性であると、油の性質の汚染物質は付着しにくく、降雨時の雨水が汚染物質と一緒に流すことができます。

【超低汚染性比較データ】



※ΔEの数値が小さいほど、耐汚染性にすぐれていることを示しています。
※建物の構造によっては低汚染性が発揮されにくい場合があります。

つやを選べます

対応表	つや有り	3分つや有り	つや消し
	UVプロテクトSiクリヤー	○	○
UVプロテクトDFクリヤー	○	○	-
水性UVプロテクトクリヤー	○	○	-

※写真は印刷物であり、実際のつや感とは異なります。

標準塗装仕様(塗り替えの場合)

●各種窯業系サイディングボード

塗装工程	塗料名	塗り回数	使用量(kg/m ² /回)	塗り重ね乾燥時間(23℃)	希釈剤	希釈率(%)	塗装方法
下地調整	高意匠サイディングボード面を補修したのち水洗いし、十分に乾燥させてください。エフロレシスはスクレーパー、ワイヤーブラシなどで削り落とし除去してください。						
シリコン系	下塗り	ビュアライドUVプロテクトSiクリアー(つや有り)	1	0.12~0.14	4時間以上	塗料用シンナーA	20~40 5~10 0~10 エアスプレー エアレススプレー ウールローラーはけ※
	上塗り	ビュアライドUVプロテクトSiクリアー(つや有り・3分つや有り・つや消し)	1	0.12~0.14	—	塗料用シンナーA	20~40 5~10 0~10 エアスプレー エアレススプレー ウールローラーはけ※
	下塗り	ビュアライド 水性UVプロテクトクリアー(つや有り)	1	0.10~0.16	4時間以上	水道水	20~30 0~10 エアスプレー ウールローラーはけ※
	上塗り	ビュアライド 水性UVプロテクトクリアー(つや有り・3分つや有り)	1	0.10~0.16	—	水道水	20~30 0~10 エアスプレー ウールローラーはけ※
フッ素系	下塗り	ビュアライドUVプロテクトDFクリアー(つや有り)	1	0.12~0.14	4時間以上	塗料用シンナーA	20~40 5~10 0~10 エアスプレー エアレススプレー ウールローラーはけ※
	上塗り	ビュアライドUVプロテクトDFクリアー(つや有り・3分つや有り)	1	0.12~0.14	—	塗料用シンナーA	20~40 5~10 0~10 エアスプレー エアレススプレー ウールローラーはけ※

(注)・上記の数値は、すべて標準のものです。被塗物の形状、素地の状態、気象条件、施工条件によりそれぞれ多少の差を生じることがあります。
 ・施工上の注意をよくご確認ください。
 ・塗料の塗り重ねは所定の塗り重ね乾燥時間をまもってください。(縮み、割れ、乾燥不良、付着不良などが起こります)
 ・下塗りには必ずつや有りを塗装してください。上塗りには下塗りと同品種をご使用ください。
 ・UVプロテクトSiクリアー、UVプロテクトDFクリアー、水性UVプロテクトクリアーは混合できませんのでご注意ください。
 ※ダシた塗料が溜まった場合には、目地はけで広げてください。

適用下地 ▶ **高意匠サイディングボード** ●光触媒処理を施した素材には、塗膜劣化が早まるなど不具合を生じる場合がありますので塗装を避けてください。
 ●シーリング面は塗膜の汚染、はく離、収縮割れなどの不具合を起こすことがありますので塗装は避けてください。

製品体系

製品名	系統	容量	色相	つや	塗り面積(缶当り/1工程)	ポットライフ(23℃)
ビュアライドUVプロテクトSiクリアー	高意匠サイディングボード用 超低汚染シリコン系外壁保護クリアー	15kgセット(■12kg ■3kg) 3kgセット(■2.4kg ■0.6kg)	透明	つや有り・3分つや有り ・つや消し※1	115m ² 23m ²	6時間
ビュアライドUVプロテクトDFクリアー	高意匠サイディングボード用 超低汚染フッ素系外壁保護クリアー	15kgセット(■12kg ■3kg) 3kgセット(■2.4kg ■0.6kg)	透明	つや有り・3分つや有り	115m ² 23m ²	6時間
ビュアライド水性UVプロテクトクリアー	水性2液形高意匠サイディングボード用 超低汚染シリコン系外壁保護クリアー	15kgセット(■14kg ■1kg)※2	乳白色	つや有り・3分つや有り	115m ²	6時間

※1 UVプロテクトSiクリアーの「つや消し」は、15kgセットのみの設定となります。
 ※2 水性UVプロテクトクリアーは、15kgセットのみの設定となります。
 注)「つや消し」は、UVプロテクトSiクリアーのみの設定となります。

■施工上の要点及び注意事項 (詳細な内容につきましては、製品使用説明書などにてご確認ください。)

- 被塗面の洗浄やエフロレシスの除去に酸性洗浄剤・アルカリ性洗浄剤などの薬剤を用いる場合、薬剤洗浄前に被塗面に十分に水を含ませてください。薬剤洗浄後の水洗工程は、高圧水洗もしくはブラシなどを用いて入念に行ってください。薬剤が壁面に残存したまま本品を塗装しますと塗膜の縮み、白化、はく離を起こすおそれがあります。水洗後、塗装面のpHを確認する場合は、pH試験紙を塗装面に押し当てて測定してください。
- 光触媒のサイディングボードには適応しておりません。光触媒処理を施した素材には、塗膜劣化が早まるなど不具合を生じる場合がありますので塗装を避けてください。
- つや調整品を使用する場合は下塗りに「つや有り」をご使用ください。つや調整品を2回塗りしつと、つやむらが生じることがあります。
- 塗装場所の気温が5℃未満、もしくは湿度85%以上である場合、または換気が十分でなく結露が考えられる場合、塗装は避けてください。
- シーリング面は、マスキングテープなどで養生を行い、塗装を避けてください。シーリング面への塗装は、塗膜の汚染、はく離、収縮割れなどの不具合を起こすことがあります。
- 吸い込みやすい基材では使用量が多くなります。
- 経年したサイディングボード面への塗装は、劣化が進行しており、表面層劣化部からはく離するおそれがあります。試験施工を行って付着性を確認してください。
- つや調整品を使用の際、吸い込みが著しい場合には、乾燥後吸い込みむらによる目地部の白化(つや消し剤のたまり)を生じることがありますので、1回目の塗装時に表面に塗膜が残らないような場合はつや有りを増し塗り、もしくは2コートして吸い込みを止めてから上塗りを塗装してください。下塗りに必ずつや有りを使用してください。つや調整品を下塗りに用いますと前述の目地部白化が生じやすくなります。
- 目地部が深く、ローラーなどで入りきらない場合は、目地はけなどで塗装してください。
- 目地部の塗料たまりや被塗面にダレを生じた際は、目地はけ、ローラーなどでむら切りし、除去してください。
- 塗装後は濡れ肌になるため、既存色より濃くなりますのでご了承ください。特に劣化が著しい場合は色調の復元にばらつきがあります。不安な場合は試験施工を実施して仕上がりをご確認ください。
- 仕上がりむらになりやすいため、ニッペカラーマックスFAや各種現場調色用着色剤を使用して調色することは避けてください。
- クリアー仕上げは下地の状態をそのまま表出してしまうため、下地の劣化が著しい場合はおすめできません。ヘヤクラックなどの発生がなく、かつ築後10年以内であることをいさおの目安にしてください。
- 下塗り材にエポキシ樹脂塗料(ニッペ浸透性シーラー(新)など)は使用しないでください。変色、はく離の可能性がります。
- コーナーエッジやジョイント部で塗膜がはがれている場合は、ファインウレタンU100やファインシリコンフレッシュIIで補修した後にクリアーを塗装してください。補修用として1液タイプをご利用の場合は、塗装後必ず1日以上乾燥させてください。縮む可能性があります(UVプロテクトSi/DFクリアーのみ)。
- 釘頭が出る場合は1液ハイボンファインデクロ+ファインウレタンU100などを施した後クリアーをかけてください。さび止め塗装した上にクリアーをかけることは決してしないでください(UVプロテクトSi/DFクリアーのみ)。
- 水洗後晴天下で必ず1日以上乾燥させてください。乾燥が不十分である場合、クリアー仕上げのためボードに残った水分の影響による外観上の不具合が目立ちやすくなるおそれがあります。
- つや調整品では、はけ、ローラーでの塗装はむらが出やすくなりますので、スプレー塗装をおすすめいたします。
- つや調整品では、塗り継ぎや補修でつやむらが出やすいので、面を切って通しで塗装してください。過剰希釈をすると本来のつやが発現しないおそれがありますので、規定の希釈量をまもってください。
- つや調整品は被塗物の形状、素地の状態、膜厚、色相、塗り重ね乾燥時間などにより、実際のつやと若干違って見える場合がありますので、事前に試し塗りをして確認してください。
- つや調整品は、使用中にも塗料液が分離しやすい場合がありますので、適宜かはんしながらご使用ください。
- 被塗物の構造、部位、塗装仕上げ形状、環境条件などの影響で、本来の低汚染機能が発現されない場合があります。
- 塗装面を部分補修する際には、硬化剤の入れ忘れにご注意ください。汚染むら発生の原因になります。
- 塗料系塗料のため、室内での塗装は必ず換気をしてください。また、外部での塗装においても、換気口・空気取入口などに養生を行い、溶剤蒸気が室内に入らないように注意してください。居住者への配慮をお願い致します。
- 所定のシンナー以外を使用したり、薄めすぎるとつや引けやダシ、かぶり不良などをきたす原因になりますので、必ず所定のシンナーおよび希釈率をまもってください。
- 硬化が不十分な場合は、シンナーで再溶解する場合があります。
- 塗料を扱う場合は、皮膚に付着しないようにご注意ください。また、蒸気やミストなども吸い込まないように十分にご注意ください。
- 塗膜の乾燥過程で水分の影響を受けた場合(高湿度、結露、降雨など)、塗膜表面が白化するおそれがあります。水分の影響を受けるおそれがある場合は、塗装を避けてください。
- 旧塗膜に発生した藻・かびは、洗浄などで必ず除去し、清浄な面としてください。付着阻害をおこすおそれがあります。
- 素地の乾燥は十分にしてください。
- 塗料液と硬化剤の混合割合は、必ずまもってください。混合割合が不適切な場合、塗膜性能が発現されなかったり、仕上がりや作業性が低下することがあります。
- 屋外の塗装で降雨、降雪のおそれがある場合、および強風時は塗装を避けてください。
- 塗装時および塗装後に密閉しますと乾燥が遅れますので、換気を十分に行ってください。
- 塗装時および塗料の取り扱い時は、換気を十分に行い、火気厳禁にしてください。
- 飛散防止のため必ず養生を行ってください。
- 薄めすぎは隠ぺい力不足、仕上がり不良などが起こるため規定範囲を超えて希釈しないでください。
- 長期間の保管(6カ月以上)は避けてください。また、開封後は一度に使い切ってください。やむを得ず保管する場合は密栓してから冷暗所で保存し、速やかに使い切ってください。
- 大面積の塗装では補修部分が目立つことがあります。使用塗料のロットは必ず控えておき、補修の際は塗料ロット、希釈率、および補修方法などの条件を同一にしてください。
- 汚れ、きずなどにより補修塗料が必要な場合があります。使用塗料のロットは必ず控えておき、補修の際は塗料ロット、希釈率、および補修方法などの塗装条件を同一にしてください。
- ローラー、はけなどは、ほかの塗料での塗装に使用すると、はじきなどが発生するおそれがありますので、十分に洗浄するか、専用でご使用ください。
- 可塑剤が多く含まれる塩ビクロス、塩ビゾル鋼板、塩ビラミネート、プラスチック、ゴムパッキン、合成皮革などへの直接塗装は避けてください。また、これらの部材に塗膜が直接触れることがないようにご注意ください。
- 塗料は内容物が均一になるようにかくはんしてください。特につや調整品では、つや消し剤が沈降している場合がありますので、かくはん機を用いて缶底の沈降物を十分にかくはんしてご使用ください。
- 開封後は一度に使い切ってください。やむを得ず保管する場合は密栓してから冷暗所で保存し、速やかに使い切ってください。
- 塗料漏洩の原因になりますので、保管・運搬時容器を横倒しにしないでください。
- 製品の安全に関する詳細な内容については、安全データシート(SDS)をご参照ください。

日本ペイント株式会社

北海道支店 ☎ 011-370-3101 近畿支店 ☎ 06-6455-9608
 東北支店 ☎ 022-232-6711 中国支店 ☎ 082-281-2180
 関東支店 ☎ 03-5479-3614 四国支店 ☎ 0877-56-2346
 北関東信越支店 ☎ 03-5479-3614 九州支店 ☎ 092-751-9861
 中部支店 ☎ 052-461-1960

●本カタログの内容については予告なく変更することがありますので、あらかじめご了承ください。
 ●本カタログ中の製品名「ビュアライド」・会社名は、日本ペイントホールディングス株式会社または日本ペイント株式会社、その他の会社の、日本およびその他の国の登録商標または商標です。
 ●©Copyright 2024 NIPPON PAINT Co., Ltd. All rights reserved.
 ●日本ペイントホームページ <https://www.nipponpaint.co.jp/>

カタログNo.
NP-C056

AA240405T
 2024年4月現在